

●解剖学第1講座 Department of Anatomy

1. 所属構成員等

教授	影山幾男
准教授	鳥海拓
講師	河上淳一, 吉岡望
客員教授	網干博文, 小島龍平, 島田和幸
非常勤講師	浅見知市郎, 姉帯沙織, 姉帯飛高, 稲富道知, 小林一広, 小林圭一, 小林千紘, 坂本雅貴, 澤口正俊, 時田幸之輔, 奈良貴史, 野中幸治, 長谷川雅子, 前田信吾, 村上和也, 村山敏明, 宮脇佳子

2. 研究テーマ

1. 頭頸部の形態形成学 Morphogenesis of the head and neck
2. 顎顔面領域の臨床解剖学 Clinical anatomy of the maxillofacial region
3. 分離頭蓋骨の形態分析 Morphometric analysis of isolated cranial bones
4. 幹細胞を利用した組織再生研究 Tissue regeneration study using stem cells
5. 一次救命処置 (BLS)教育 Basic life support (BLS) education
6. 肩関節のバイオメカニクスに関する研究 Biomechanics of the shoulder joint
7. 神経筋疾患の病態機序に関する研究 Pathomechanisms of neuromuscular diseases

3. 今年度の研究上の特筆すべき事項

学会賞

1. 第35回「理学療法ジャーナル賞」準入賞, 今井孝樹, 流合慶多, 富永章寛, 河上淳一, 烏山昌起, 原田伸哉, 工藤憂, 永松隆, 2024年4月20日, 鏡視下腱板修復術後における複合性局所疼痛症候群様症状の発症に影響する術前因子—決定木分析による検討
2. 硬組織再生生物学会功労賞, 影山幾男, 2024年8月24日

特許

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

1. 令和6年度日本歯科大学歯学会大会・総会, 東京都, 2024年6月2日, 影山幾男 (大会長)

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部研究費

1. 日本学術振興会科学研究費基金, 挑戦的研究 (萌芽), (継続), 2022～2024年度, 筋膜構造の形態学的・組織学的基盤確立と新たな運動療法の開発, 江玉睦明(代表), 佐藤昇, 河上敬介, 影山幾男, 田口徹(分担), 2080000円
2. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(B), (継続), 2023～2026年度, アキレス腱捻れ構造の非侵襲的評価法確立と腱の構造と特性に着目した障害予防法開発, 江玉睦明(代表), 佐藤昇, 高林知也, 石垣智恒, 大森豪, 工藤慎太郎, 影山幾男(分担), 1430000円
3. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), (継続), 2023～2025年度, Polyphosphateおよび軟組織細胞を用いた硬組織三次元培養体の開発, 津田啓方(代表), 三上剛和, 鳥海拓, 篠塚啓二, 白土博司(分担), 1300000円
4. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), (継続), 2023～2025年度, 細胞骨格連結タンパク質の欠失による神経・筋変性の分子病態機序の解明, 吉岡望(代表), 1560000円

5. 先進医薬研究振興財団, 研究助成金, (継続), 2023~2025年度, 心筋細胞におけるタンパク質凝集体の構成分子と形成機序の解明, 吉岡望(代表), 1000000円
6. 武田科学振興財団, 医学系研究助成, (継続), 2023~2027年度, 遺伝性ニューロパチーにおける感覚神経変性に関わるシグナル伝達経路の解明, 吉岡望(代表), 0円
7. 中谷医工計測技術振興財団, 研究助成金 (奨励研究), (継続), 2023~2024年度, 歩行障害のシステム解明に向けた筋活動と動作の複合計測法の開発, 吉岡望(代表), 0円

8. 研究業績

A. 著書

1. 影山幾男 (分担): 第16章 I 消化器系 3. 咽頭. 前田健康, 天野修, 阿部伸一, 馬場麻人編: 口腔解剖学. 3版, 医歯薬出版, 東京, 2025, 223-226. ISBN 978-4-263-45690-3.
2. 影山幾男 (分担): 第2章 骨系 (骨格). 小澤一史, 坂井建雄, 飯島典生: Crosslink basic リハビリテーションテキスト 解剖学. メジカルビュー社, 東京, 2025, 25-59. ISBN 978-4-7583-2271-3.
3. 1) 影山幾男 (分担): 第1章 解剖学の基礎知識. 松村譲児, 島田和幸 編著: イラスト口腔顔面解剖学. 1版, 中外医学社, 東京, 2024, 4-17. ISBN 978-4-498-00041-4.
3. 2) 影山幾男 (分担): 第2章 運動器系①骨. 松村譲児, 島田和幸 編著: イラスト口腔顔面解剖学. 1版, 中外医学社, 東京, 2024, 18-60. ISBN 978-4-498-00041-4.
3. 3) 影山幾男 (分担): 第7章 歯科インプラントに必要な解剖学. 松村譲児, 島田和幸 編著: イラスト口腔顔面解剖学. 1版, 中外医学社, 東京, 2024, 202-224. ISBN 978-4-498-00041-4.
3. 4) 影山幾男 (分担): 第11章 成長発育と老化. 松村譲児, 島田和幸 編著: イラスト口腔顔面解剖学. 1版, 中外医学社, 東京, 2024, 267-277. ISBN 978-4-498-00041-4.

B. 原著

1. Miyake K, Mikami Y, Asayama Y, Toriumi T, Shinozuka K, Tonogi M. Reactive oxygen species generation required for autophagy induction during butyrate- or propionate-induced release of damage-associated molecular patterns from dying gingival epithelial Ca9-22 cells. ☆◎◇J Oral Sci. 2024; 66: 125-129. doi : 10.2334/josnusd.23-0421.
2. Sakamoto K, *Edama M, Osanami H, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Toriumi T, Kageyama I (9, 10th) (10 authors). Relationship between first tarsometatarsal ligament morphology and its continuity with the fibularis longus and first tarsometatarsal joint degeneration. ☆◎◇Clin Anat. 2024; 37: 930-937. doi : 10.1002/ca.24167.
3. Ishiyama S, Hayatsu M, Toriumi T, Tsuda H, Watanabe K, Kasai H. Assessing the combined impact of fatty liver-induced TGF- β 1 and LPS-activated macrophages in fibrosis through a novel 3D serial section methodology. ☆◎◇Sci Rep. 2024; 14: 11404. doi : 10.1038/s41598-024-60845-6.
4. *Karasuyama M, Tsuruta T, Yamamoto S, Ariie T, Kawakami J, Minamikawa T. Comparative efficacy of treatments for a first-time traumatic anterior shoulder dislocation: a systematic review and network meta-analysis. ☆◎◇J Shoulder Elbow Surg. 2024; 33: 2505-2514. doi : 10.1016/j.jse.2024.05.036.
5. Yoshioka N, Kurose M, Sano H, Tran DM, Chiken S, Tainaka K. Sensory-motor circuit is a therapeutic target for dystonia musculorum mice, a model of hereditary sensory and autonomic neuropathy 6. ☆◎◇Sci Adv. 2024; 10: ead9335. doi : 10.1126/sciadv.ad9335.
6. *Inomoto A, Kanzaki R, Suzuki Y, Hiroshige K, Yotsumoto T, Yoshida Y, Kawakami J (9th) (12 authors). Relationship between respiratory sarcopenia and respiratory muscle weakness in community-dwelling older adults: a preliminary cross-sectional study. ◎◇J Phys Ther Sci. 2024; 36: 603-608. doi : 10.1589/jpts.36.603.
7. Sakamoto K, Edama M, Hirai T, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Toriumi T, Kageyama I (9, 10th) (10 authors). Relationship between insertions of the tibialis anterior and peroneus longus and first tarsometatarsal joint degeneration. ☆◎◇BMC Musculoskelet Disord. 2025; 26: 82. doi : 10.1186/s12891-025-08319-2.
8. Iwanaga J, Takeshita Y, Anbalagan M, Zou B, Toriumi T, Kunisada Y. The greater palatine nerve and artery both supply the maxillary teeth: An anatomic and radiologic study. ☆◎◇J Am Dent Assoc. 2025; 156: 151-159. doi : 10.1016/j.adaj.2024.11.012.

C. 解説・総説

1. 宮宗秀伸, 高篠智, 星野敬吾, 五十嵐由里子, 小島龍平, 児玉淳, 鳥海拓, 影山幾男 (8, 17番目 全17名). 第34回全国学術集会における人類形態科学研究会初のワークショップ開催の試み. 形態科学. 2024; 27: 37-40.
2. 鳥海拓, 野中直子, 島田和幸, 影山幾男. 山本義俊譯『窮理人身論』について. 形態科学. 2024; 27: 41-44.
3. 鳥海拓, 島田和幸, 野中直子, 影山幾男. 明治初期の小学校で学童用に使用された人体構造教育用問答書について. 形態科学. 2024; 27: 45-51.
4. 島田和幸, 鳥海拓, 野中直子, 内藤美智子, 影山幾男. 坪井為春編纂『初學生理書』について. 形態科学. 2024; 27: 53-57.
5. 鳥海拓, 島田和幸, 野中直子, 影山幾男. 坪井為春・小林義直同譯『弗氏生理書』について. 形態科学. 2025; 28: 5-9.
6. Iwanaga J, Kabak SL, He P, Hamada Y, Kikuta S, Takeshita Y, Toriumi T (11番目, 全15名中). Evidence-based anatomical terminology in dentistry developed by a consortium of experts. ☆◎◇Clin Anat. 2025; 38: 374-406.doi : 10.1002/ca.24260.

D. 報告・紀要

1. 三上剛和, 早津学, 渡辺啓介, 鳥海拓. ミトコンドリアDNA分析による佐渡在来イワナ集団の遺伝的解析と解剖組織学的解析による養殖イワナとの比較. 佐渡の自然史: 調査研究報告書. 2024; 8: 29-38.
2. 長野友彦, 河上淳一, 時任真幸, 大峯三郎. 肩腱板断裂術後における肩外転装具装着下の安全な運動方法の探索 - 筋骨格シミュレーションモデルを用いたアプローチ. 九州栄養福祉大学研究紀要. 2024; 21: 7-15.
3. 吉岡望. 肝動脈の変異. 2024年度第1回形態形成学セミナー新潟報告集. 2025; 66-68.
4. 鳥海拓. 肝臓の臓側面. 2024年度第1回形態形成学セミナー新潟報告集. 2025; 70-71.
5. 河上淳一. 腰神経叢の走行について. 2024年度第1回形態形成学セミナー新潟報告集. 2025; 74-76.
6. 影山幾男. 副腎 (Gl. suprarenalis)への血管系. 2024年度第1回形態形成学セミナー新潟報告集. 2025; 78-79.

E. 翻訳

特記事項なし

F. 学術大会(口演・ポスター発表)・講演会・研究会・研修会等での講演

1. 鳥海拓, 島田和幸, 河上淳一, 吉岡望, 影山幾男. 時代背景を考慮した本邦における表情筋名の変遷. 令和6年度日本歯科大学歯学会大会・総会, 東京都, 2024年6月2日
2. 河上淳一, 鳥山昌起, 今井孝樹, 原田伸哉, 工藤憂, 吉岡望, 鳥海拓, 影山幾男 (7, 8番目 全8名). 肩腱板断裂修復術後の棘上筋腱張力推定: 筋骨格シミュレーションによる解析. 令和6年度日本歯科大学歯学会大会・総会, 東京都, 2024年6月2日
3. 吉岡望, Dang Minh Tran, 矢野真人, 幡野敦, 佐々木純子, 松本雅記, 河上淳一, 鳥海拓, 影山幾男 (8, 9, 10番目 全11名). ホスホイノシタイド代謝異常による神経細胞死の機序解明. 令和6年度日本歯科大学歯学会大会・総会, 東京都, 2024年6月2日
4. 宮脇佳子, 一杉正仁, 鳥海拓, 影山幾男. 法医剖検例からの日本人における卵円窩開存の特徴と頻度の検討. 令和6年度日本歯科大学歯学会大会・総会, 東京都, 2024年6月2日
5. 鈴木新大, 矢野航, 鳥海拓, 影山幾男. ヒト上顎骨の成長方向とパターン解析. 令和6年度日本歯科大学歯学会大会・総会, 東京都, 2024年6月2日
6. 吉岡望, 黒瀬雅之, 佐野裕美, Dang M Tran, 知見聡美, 田井中一貴. 遺伝性感覚性自律神経性ニューロパチーVI型モデルのdystonia musculorumマウスにおける運動障害の原因回路は感覚運動回路である. Neuro2024 (第47回日本神経科学大会, 第67回日本神経化学大会), 福岡市, 2024年7月24~27日
7. Ting Yang, Rujia Li, Haozhe Wu, Taku Toriumi, Ikuo Kageyama, Kazuyuki Shimada. Restrospective histopathological study of pancreatic inflammatory cell infiltration in cadaver specimens. コ・メディカル形態機能学会 第22回学術集会・総会, 入間郡毛呂山町, 2024年9月7日

8. 河上淳一, 鳥海拓, 影山幾男. 肩関節における形態の差が運動力学に与える影響. コ・メディカル形態機能学会 第22回学術集会・総会, 入間郡毛呂山町, 2024年9月7日
9. 鳥海拓, 河上淳一, 影山幾男. 生理学実習に導入した胸骨圧迫とAED使用に特化したBLS実習の試み. コ・メディカル形態機能学会 第22回学術集会・総会, 入間郡毛呂山町, 2024年9月7日
10. 加藤彰子, 水谷誠, 鳥海拓, 本田雅規. K-CX ATおよびKalkitoxを用いたヒト歯の迅速脱灰に関する比較研究. 第84回日本解剖学会中部支部学術集会, 名古屋市, 2024年10月5～6日
11. 矢野航, 鳥海拓, 影山幾男. ヒト頭蓋骨前頭洞3次元形態に基づく新規年齢推定. 第78回日本人類学会大会, 大阪市, 2024年10月12～14日
12. 鳥山昌起, 鶴田崇, 河上淳一, 南川智彦, 大園宏城, 森山弘朗. 肩前方不安定症におけるブリストー/ラタジェ法の比較:メタ解析. 第55回日本肩関節学会・第21回日本肩の運動機能研究会, 京都市, 2024年10月25～26日
13. 小野日菜子, 河上淳一, 宮崎大地. 僧帽筋下部線維に対する触刺激の効果. 第55回日本肩関節学会・第21回日本肩の運動機能研究会, 京都市, 2024年10月25～26日
14. 鳥山昌起, 鶴田崇, 河上淳一, 南川智彦, 大園宏城, 森山弘朗. 初回肩関節前方脱臼の治療比較:ネットワークメタアナリシス. 第55回日本肩関節学会・第21回日本肩の運動機能研究会, 京都市, 2024年10月25～26日
15. 宮崎大地, 河上淳一, 小野日菜子. 肩関節周囲炎症例の結帯動作制限に関する因子の検討. 第55回日本肩関節学会・第21回日本肩の運動機能研究会, 京都市, 2024年10月25～26日
16. 吉岡望, 吉本由紀, 井関祥子, 影山幾男. 中枢神経系の損傷部で瘢痕組織を構築する線維芽細胞の発生起源について. 第66回歯科基礎医学会学術大会, 長崎市, 2024年11月2～4日
17. 三上剛和, 早津学, 津田啓方, 石山詩織, 葛西宏威, 岸上哲士, 鳥海拓(8番目 全8名中). 歯周病と肥満による肝がんリスクの検討. 第66回歯科基礎医学会学術大会, 長崎市, 2024年11月2～4日
18. 牧草隆一, 松永紗帆, 中村雅隆, 河上淳一, 大道淳, 石川茂樹. 外来患者の転倒インシデント低減に向けた取り組み:転倒高リスク患者を早期に発見するために. 日本転倒予防学会第11回学術集会, 佐賀市, 2024年11月23～24日
19. 大道淳, 中村雅隆, 河上淳一, 松永紗帆, 牧草隆一, 石川茂樹. 運動器不安定症に対する理学療法の効果:当院の現状把握と今後の取り組み. 日本転倒予防学会第11回学術集会, 佐賀市, 2024年11月23～24日
20. 長野友彦, 河上淳一, 時任真幸, 大峯三郎. 肩腱板断裂術後における肘関節運動時の修復腱にかかる力学的ストレスの推定:バイオメカニクスの検討. 第57回日本リハビリテーション医学会九州地方会, 久留米市, 2025年2月2日
21. Ting Yang, 鳥海拓, 影山幾男, 島田和幸, Wu Haozhe, Yuhao Zen. Pancreatic precancerous lesions: Retrospective histopathological study in cadaveric specimens. APPW2025 (第130回日本解剖学会/第102回日本生理学会/第98回日本薬理学会合同大会), 千葉市, 2025年3月17～19日
22. 深町侑那, 姉帯沙織, 影山幾男, 鳥海拓, 姉帯飛高, 平崎鋭矢. Comparative anatomy of the Deltoid. APPW2025 (第130回日本解剖学会/第102回日本生理学会/第98回日本薬理学会合同大会), 千葉市, 2025年3月17～19日
23. 矢野航, 鈴木新大, 鳥海拓, 影山幾男. Newly established age estimation for adults based on 3D morphology of human frontal sinus. APPW2025 (第130回日本解剖学会/第102回日本生理学会/第98回日本薬理学会合同大会), 千葉市, 2025年3月17～19日
24. 金子瑠菜, 矢野航, 鈴木新大, 鳥海拓, 影山幾男. Developmental formation of human sphenoid bone by the different 3D growth patterns of modules. APPW2025 (第130回日本解剖学会/第102回日本生理学会/第98回日本薬理学会合同大会), 千葉市, 2025年3月17～19日
25. 鈴木新大, 矢野航, 鳥海拓, 影山幾男. Growth pattern characteristic of the palatal process in the human maxilla. APPW2025 (第130回日本解剖学会/第102回日本生理学会/第98回日本薬理学会合同大会), 千葉市, 2025年3月17～19日
26. 鳥海拓, 宮脇佳子, 影山幾男. A rare case of an accessory vascular-like structure penetrating the diaphragm from the hepatic peritoneum and opening into the right atrium. APPW2025 (第130回日本解剖学会/第102回日本生理学会/第98回日本薬理学会合同大会), 千葉市, 2025年3月17～19日

27. 影山幾男. How to dissect cadavers. APPW2025 (第130回日本解剖学会/第102回日本生理学会/第98回日本薬理学会合同大会), 千葉市, 2025年3月17～19日

G 講演

1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 河上淳一. 解剖学講座で肩関節の疑問に挑む. 第16回日本肩関節理学療法研究会, 講演, 東京都, 2024年8月17～18日
2. 河上淳一. 肩腱板断裂術後の理学療法に関して. 2024年日本運動器理学療法学会臨床研究推進セミナー, 講演, Web開催, 2024年12月7日
3. 吉岡望. Application of multipurpose gene-trap system to elucidate hereditary sensory and autonomic neuropathy at the molecular, cellular, and neural circuit levels (カタチを知る者は病を制する—脳神経病態の形態学的研究の最先端—). APPW2025 (解剖・生理・薬理合同大会), シンポジウム, 千葉市, 2025年3月17～19日
4. 河上淳一. バイオメカニクスを臨床実践に生かす. 日本運動器理学療法学会 第4回サテライトカンファレンス, シンポジウム, Web開催, 2025年3月29日